



別紙

「『NAS電池式VPP技術』を活用した 需給調整市場への調整力の供出の開始」の概要

2022年4月5日

中部電力ミライズ株式会社
日本ガイシ株式会社

- 2050年のカーボンニュートラルに向けて再生可能エネルギーの導入拡大の動き
- 安定した電力供給を行うために「**調整力**」の重要性が高まり、
2021年4月に「**需給調整市場**」が創設される。

・調整力の取引は、2022年3月時点で、応札量の不足（調達量未達）が続いており、再エネ拡大に向けて、調整力の供出（応札）が求められている。



- 2021年7月、中部電力ミライズと日本ガイシが、脱炭素社会実現に向けて需給調整市場の参入に向けた実証実験を開始。
- **NAS電池**を活用し、**複数の事業所のエネルギーリソース**を**高精度に制御**できるバーチャルパワープラント技術を確立。

2022年4月、市場参入へ

スキーム



特色

- お客さまのVPPへ参加しやすい仕組みを実現し、さまざまな需要家リソースの資産価値を向上
- ミライズ独自開発のDR高速制御エンジンにより高精度な調整力を創出するとともに、調整力を有効活用

<p>会社名</p>	 <p>中部電力ミライズ</p>	 <p>日本ガイシ</p>
<p>役割</p>	<p>需要家リソースアグリゲーター</p>	<p>NAS電池による調整力提供</p>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> アグリゲーションコーディネーター兼リソースアグリゲーターとして、幅広く需要家リソースをデマンドレスポンスに活用するとともに、VPP技術を活用した事業を拡大。 今回、単独では需給調整市場の商品要件を満たせないお客さまについても、特性を考慮して組み合わせることにより、参入しやすい仕組みを構築。 リソースの調整力を需給調整市場で活用するのみならず、お客さまの所有する蓄電池の価値を最大化するため、他用途DRへの活用、ピークカット等を含めた、蓄電池最適運用サービスをあわせて展開。 	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池メーカーとして、より活用しやすいリソースとなるよう、VPP技術に必要な蓄電池情報、運用ノウハウをアグリゲーションコーディネーター、リソースアグリゲーターに提供し、さらなる蓄電池の導入効果向上に向け、今後もVPP技術などに必要な技術開発を展開。 蓄電池導入をご検討されているお客さまには、これまでの販売、運用実績を元に、導入効果の試算シミュレーションや運用方法をご提案。

■ 需給調整市場の商品区分

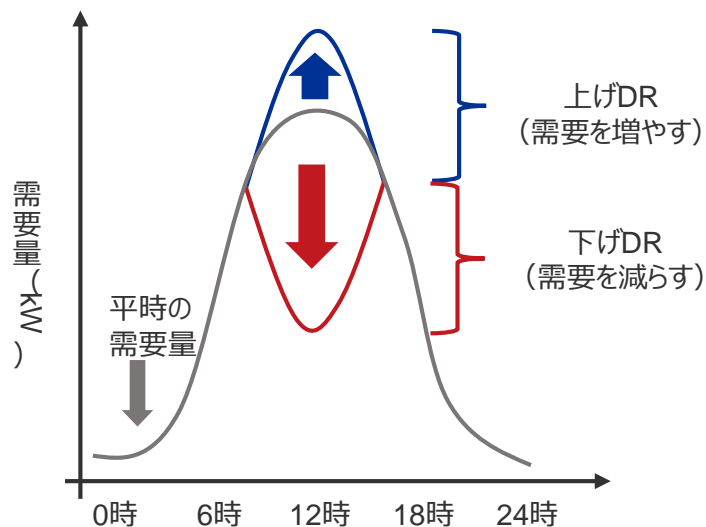
	一次調整力	二次調整力①	二次調整力②	三次調整力①	三次調整力②
応動時間	10秒以内	5分以内	5分以内	15分以内	45分以内
継続時間	5分以上	30分以上	30分以上	3時間	3時間
指令間隔	— (自端制御※)	0.5~数十秒	1~数分	1~数分	30分

※中央給電指令所からの信号による指令ではなく、自端で周波数を検知して制御を行うこと

(参照) 第13回需給調整市場検討小委員会 (2019.8.1) 資料2

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/jukyuchousei/2019/files/jukyu_shijyo_13_02.pdf

■ 調整力について



区分	内容
需要を減らす調整力	調整力発動により電気の需要量を減らす 例：電気のピーク需要のタイミングでエネルギーリソースの稼働を落とし、需要と供給のバランスを取る
需要を増やす調整力	調整力発動により電気の需要量を増やす 例：再エネの過剰発電分をエネルギーリソースの稼働により消費したり、蓄電池を充電することにより吸収したりする